

ハスの茎の上の木滴モデル

— 企業の誕生・成長・終エニと
市場のめばえ・成長・急変化・終エニ —

○ 木滴…企業

● 霧 …人及び金

① ハス … 市場 小→大→中(小→枯)

II ハスの茎…市場の熟成度・高慶土.

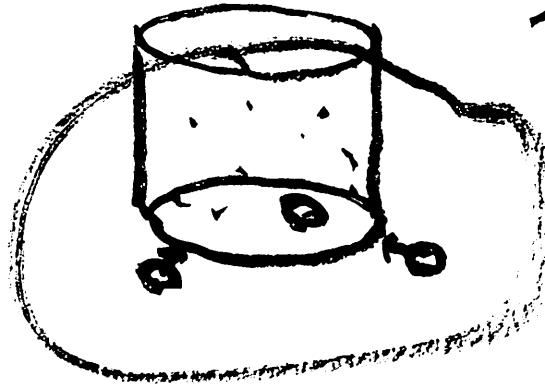
→ 風 … 市場を小さく大きく変化させるもの
大きい木滴は急変にひきかけ
分裂するも、全部をいくつ部分か
つりまとまる。木滴どうのはうと、結合と
あさる。

- ・ 市場が充分でないのに、大きな木滴にな。→
「まとめて、重みで大きくなれり」、ハサハ風く、
小さな木滴は表面にくつこつとあらぬに大きくなる
ほど、おちてはう。
- ・ いすれ葉は小さくなる。木滴(だい)は大きくなる。
すぐ近くの高低いのは、ばへぐるべう来る。小さいほど
あさたしうぎは、小さい。一新市場へのやむをえる
展開に似近い。

- ・水滴の核は、活発な霧、粒子。
まわりをまきこねやすく性質をもつ。
- ・いわゆる企業の若沢は、ハスのハの縮小、
企も縮小⇒ひじき量く放出量。
まわりに水があるも、そのハスのハの上では、
それが上大きくなる→あたりハスの上に転出する、
放散し、若水滴に水粒子を含むこと、
もしくは、ハの端からとまどい水とたたかせ、
ちよどスの下にハスが“あればそニ”水滴に吸収される。
そういう状況が近づくと、若ハハ。若ハ水滴は、
急ペースで成長できる。
- ・つうじょう うまたて、若い小さいハには、^大なる
水滴はない、い霧の中から、活発な粒子か、
まわりをまきこね、ハの上に、いはの水滴をつくる。
- ・ただし、中には、あるひじの大きさのに、ほとんどの水滴、
の、ないハもある、まく、大きな水滴かのれば、
新鮮が展開となる。それまで、固く大きくなつて、
いた茎がしんぐれた頃が、いちばん、チクス（なくだれも、
いきなり大きな茎ができるベンチャード、自然発生ではなく、
何らかの上方から水分供給を受けている。

- ・セツビは、ハの上にちかちまとつて3つのじかんかたつと、ねあれでゆく。
- ・宍方に霧がたとえ水滴は、茎癸に、小さくあり、なくては。
- ・適切な技術ニーズは、すでに新しいバスのハをメバエセ3つのあいにキソジのハ、ハ、ある部分を、ぐーと成長させるもの、である
- ・適切な技術は、バスではない。もしくは、トコロのハ、ハを出させるにすぎないもの。
- ・これまでの水滴は、ハの成長を促進する。水滴のゆるいハは、成長するにむか。
- ・近年は、ドリフ量が少なくて、行政が育成の為に霧をハラマ、そして世界レベルの競争の中で、吸収力がでるようになる。
- ・大き、木道ほど、表面積が大きい、木石とかくくさる、ハほど、よく水滴ができる。

- ・特許は、用いてある。



その半径の木滴を占有するか。
そこで、葉がなければ、木滴は大きくなれない。特許なれば高収益にならぬ。特許たゞくはダメな。とある。



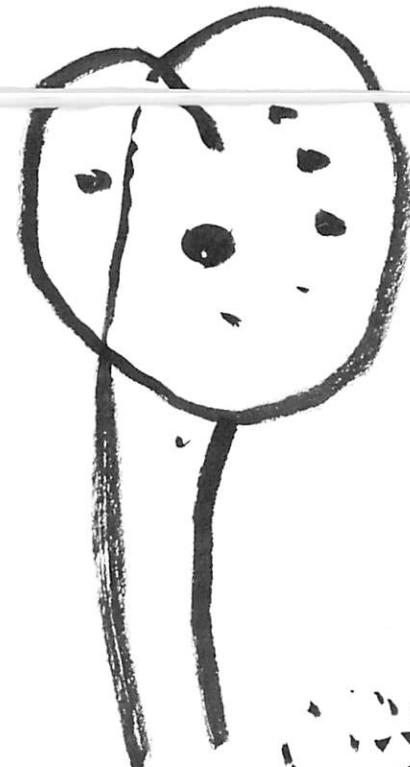
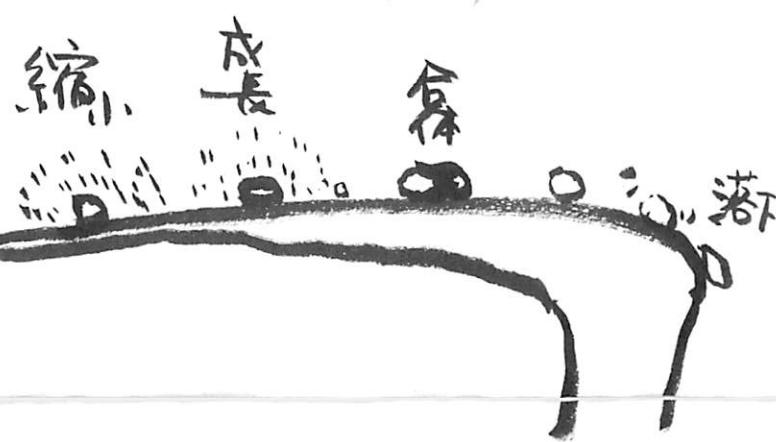
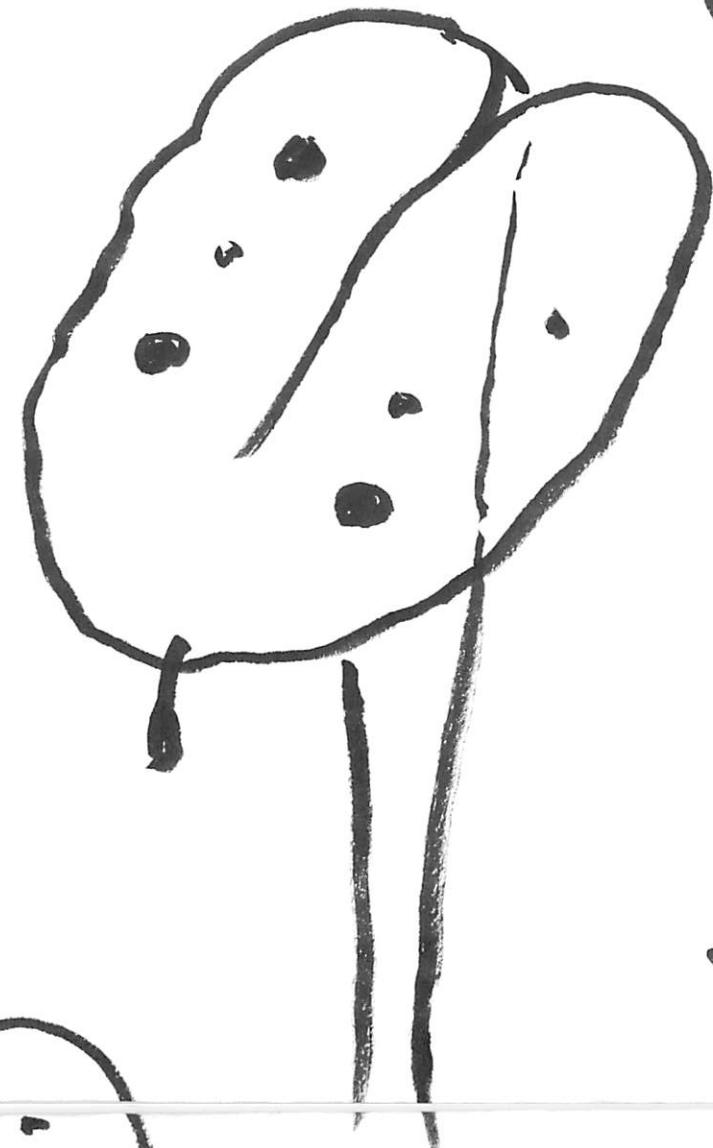
風



葉が

大き
中れ

金落
落 or
一部落下



霧の中



湖